

市制施行五〇周年にむけて

山下哲也(公明党)
 市といわゆる都市間競争に負けないように、市民の皆さんとともに、この町田をさらに魅力ある町となるよう取り組みたいと考えています。

市長 事業の趣旨から考えても、市民主体の取り組みを軸にしたいと思っています。市民の参画については、多くの機会をとらえ市民にアピールをし、全市を挙げた取り組みになるように考えています。そこで、この町田の近隣の都

自治体本来の役割担った市政を

殿村建一(日本共産党)
 安定雇用など市民の深刻な生活実態と自治体の役割をどのように認識しているか。

市長 自治体の役割は、市民の生活の安定、福祉の増進にあることを基本とし、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担うことであると考えています。

副市長 新庁舎建設は中止し、市民生活を優先すべきだが、

小山、小山ヶ丘の問題について

河辺康太郎(民主党)
 見直しを求められています。

副市長 その解決、対応策を問う。

都市計画部長 抜本的な渋滞緩和を目指し、警視庁とも調整しながら今後の渋滞緩和策を検討しているところですが、

学校教育部長 もう一校小学校を建設しなければ対応できないとの判断をもつに至っており、現在、二〇一〇年四月の開校を目標に準備を進めているところです。

地域ぐるみの健康づくりを!

宮坂けい子(公明党)
 地域に健康づくりの拠点をづくり、保健師やE.Tを活用し、メタボリックシンドロームの防止対策を急げ。

岩崎助役 身近な場所に保健師がいて活動することは、いつでも相談できるという点でメリットがあると考えます。

副市長 視覚障がい者自立支援に、SPコードの添付や活字文書読み上げ装置の設置を。

岩崎助役 二〇〇六年三月、

保育所の入所待機児童をゼロへ

いわせ和子(まちな新世紀)
 二〇〇九(平成二一)年四月目標に保育所の入所待機児童をゼロへの方策は。

市長 引き続き保育園の新設、分園の設置、園舎の老朽化に伴う建てかえによる定員増、定員の弾力化を図っていきます。

副市長 投票区域の見直しについて(特に鶴川地区)。

選挙管理委員長 参議院選挙終了後に全域で見直しを行う

国保証とりあげ中止を求め

細野龍子(日本共産党)
 障がい者の生活を支える補装具の自己負担分を無料にすべきだが、どうか。

健康福祉部長 障害者自立支援法では利用者を含めて皆で費用を負担しあうことになっています。

副市長 子どもや病人のいる世帯の国保証取り上げを見直すべきだが、どうか。

岩崎助役 資格証の交付は相互扶助に基づき公平に保険

市職員の採用年齢の緩和を求め

三遊亭らん文(まちな新世紀)
 町田市の職員採用は大卒程度で二六歳、社会人経験者で三六歳が上限だが、市川市では五九歳になっても応募できる。町田市は、年齢上限を緩和してはどうか。

総務部長 国で四〇歳という話がありますが、民間の活用というのは大変重要ですが、ただ、職員の年齢構成ということもあり、そういう点を検討する必要があります。

障がい者専門の医療体制を

中山勝子(自由民主党)
 市民病院に、脳性麻痺や心身障がい者が診ていただける専門の窓口設置を。

岩崎助役 障がい児者に対する専門医療はあらゆる分野にかかわります。市民病院ではそのすべてを完結させることは難しい現状です。症例によっては市内外の専門的な医療機関と連携をとって対応させていきます。

副市長 きめ細やかな育児支援



活字文書読み上げ装置

児童相談所の早期設置を望む

若林章喜(まちな新世紀)
 虐待に対して、より迅速な対応をするために、早期に児童相談所の設置を望む。

岩崎助役 都と協議の時間は多少かかるとはありますが、積極的に進めていきたい。

副市長 総合的な福祉政策を進めるために、保健所の設置を求めます。

岩崎助役 期間をかけて十分に都と協議していきたい。

副市長 中核市の面積要件が廃

市民活動支援と男女平等参画を

吉村こずえ(民主党)
 多様な地域の人材、情報を生かすためNPOや市民活動をどう支援していくのか。

生活文化担当部長 NPO法人の活動について知りたい方への情報提供や、人材を求め、NPO法人に対しての情報提供ということ窓口に設けていきたい。

副市長 「社会貢献市民ファンド」を設立し財政的に支援を。生活文化担当部長のご提案

高齢者への税の負担軽減策を

高嶋均(日本共産党)
 障害者控除認定証明を全ての対象者に郵送し、控除が受けられるようにすべきと考える。

岩崎助役 研究させていた

副市長 分譲マンション耐震診断助成制度を創設すべきと考える。

町田助役 助成制度の創設が有効なのかという判断のもとに検討を進めるべきものと

障がい者専門の医療体制を

中山勝子(自由民主党)
 市民病院に、脳性麻痺や心身障がい者が診ていただける専門の窓口設置を。

岩崎助役 障がい児者に対する専門医療はあらゆる分野にかかわります。市民病院ではそのすべてを完結させることは難しい現状です。症例によっては市内外の専門的な医療機関と連携をとって対応させていきます。

副市長 きめ細やかな育児支援